

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市小野路宿里山交流館		
施設概要	【所在地】町田市小野路町888番地1 【開設年月】2013年9月 【開館日時】年末年始を除く毎日/9時～17時 【建物面積】475㎡ 【建物内容】主屋(324㎡)、土蔵(87㎡)、製茶場(25㎡)、味噌蔵(11㎡)、長屋門(5.5㎡)ほか 【建物構造】木造 平屋建て一部2階建て		
設置目的	地域の歴史、文化等を継承する場及び地域住民と地域住民又は来訪者との交流を促進する場を提供し、もって町田市の観光の振興に寄与するため。		
設置根拠法令・条例	町田市小野路宿里山交流館条例		
所管部課	経済観光部 観光まちづくり課	問合せ先	042-724-2128
施設ホームページURL	https://www.city.machida.tokyo.jp/kanko/miru_aso/satoyamakoryukan/		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 小野路街づくりの会	法人番号	3012305001628
指定管理者所在地	町田市小野路町891番地7		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)施設の維持管理業務…施設の修繕や保守点検、清掃、警備等の業務を行う。 (2)情報提供・受付業務…地域の観光情報等の提供や施設貸出しのための受付業務を行う。 (3)イベント業務…賑わい創出のためのイベントや土蔵での企画展を行う。 (4)その他の業務(自主事業)…地元産の農作物を使った飲食の提供や地元産の農作物、工芸品等の販売を行う。		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
〇ごと大作戦の一環として行っている、『散策de通行手形』を活用した里山保全の実施	2021年度	参加型ウォークラリー『散策de通行手形』を開催した(2021年度達成済)
近隣小学校の社会科見学の受入や、地元団体の作品展示会開催による地域連携の実施	毎年度	小学校の見学受入2件、地元団体の作品展示5件実施した。中学校や高校生の授業協力も3件行った。
新聞や地域情報誌などのメディアを活用した情報発信、及びテレビ等の撮影への積極的な協力を行う	毎年度	民間企業が発行するお出かけマップや、ムック本に施設の情報を掲載した。

3. 昨年度の課題

内容	2021年度に増加した開館時の平均来館者数を維持のため、来館者の需要分析のためのアンケートの項目を見直し、サービスの向上を目指す必要がある。また、合計来館者30万人を記念したイベントの開催に向けてアフターコロナに対応した開催方法を企画する必要がある。 【2021年度評価委員会指摘事項】 利用者アンケートについて配布枚数の積算と回収率の考え方及び調査方法について見直しを検討するよう指摘があった。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	B 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	各イベントの告知やお弁当・野菜の販売状況について、Instagramを活用して計184回投稿するなど、SNSを通じた情報発信に取り組んだ。さらに、市が実施するアニメーションとコラボレーションしたスタンブラリーの訪問先として協力し、新たな客層を獲得した。また、地場産野菜を使った惣菜を詰めた里山弁当について、市内のイベントでの販売や仕出し弁当として受注するなど、積極的に施設外での周知を図った。これらの周知活動に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で希薄となっていた地域連携は、地元の小学生や中学生の体験学習や地元のイベント等への協力を各主催者の活動再開に合わせて行うことで、再度深めることが出来た。今後は、新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類になったことを踏まえ、イベントの内容や実施回数の増加を検討し、来館者数の増加及び地域住民と来訪者との交流を促進する必要がある。 【2021年度評価委員会指摘事項】 利用者アンケートについては配布枚数を管理し、未回収の枚数を確認できるようにした。調査方法については2022年度に調査項目の見直しを行った。2023年度のアンケートから反映する。
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	新型コロナウイルス感染症の影響による閉館日がなかったため、来館者数は2019年度の95.1%まで回復した。また、人気ユーチューバーの動画撮影に協力したことで、施設の外観だけでなく小野路うどんや里山コロッケもYouTubeで紹介することができ、情報発信に繋げることができた。利用者満足度は90.0%と2021年度と比べて5.2ポイント減少したが、施設の清掃状況や従業員の対応が評価されたことにより目標としている水準に達した。2023年度以降のアンケートを回答しやすい様式に変更することにより、より多くの利用者から意見を聴取できるようにする。

【評価対象年度 2022年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2022年4月～2023年3月 【配布枚数】 30枚 【回収枚数】 22枚 【回収率】 73.3% 【調査方法】 来館者に声をかけてアンケートの記入をお願いし、回収箱へ投函してもらい回収
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A: 95%以上 B: 85%以上～95%未満 C: 85%未満	90.0%	90.0%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値	93.3	95.2	90.0		

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
来館者数	A: 37,000人以上 B: 35,000人以上～36,999人以下 C: 34,999人以下	37,000人	29,762人	C	
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	36,000	37,000	37,000	38,000	38,000
実績値	24,743	28,965	29,762		

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
小野路の歴史・自然・文化に関するイベントの開催回数	A: 34回以上 B: 27回以上～33回以下 C: 26回以下	30回	28回	B	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	30	30	30	30	30
実績値	18	27	28		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	昨年度と比べ、開館日数が増えたこともあり年間来館者数は797人増加した。また、開館から約9年2カ月となる、2022年11月22日に合計来館者30万人を達成した。イベント開催回数は、桜の開花に合わせて行うイベントを年度内に実施しなかったこと、荒天等のため実施予定のイベントを2回中止したことが影響し目標に達していない。しかし、地域の竹を使った竹炭パウダーをスイーツに活かしたメニューの開発や地場産野菜を活用した惣菜を入れた里山弁当の販売など、サービス向上への新たな取組みを積極的に行った。その結果、利用者満足度は目標水準に達している。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2022年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	来館者に対する平等・公平な対応	来館者に親切で平等・公平な対応を行うこと。	来館者に親切で平等・公平な対応を行っていることを現地調査及びアンケートで確認。	適
	来館者が心地よく過ごせる施設運営	施設の雰囲気がかわるような事案が発生しないよう配慮すること。	タヌキ等の野生動物に施設を荒らされないよう、フンの清掃を徹底したこと等を月報にて確認。	適
針 施設の運営方針	地域住民と来館者との交流	来館者が地域住民と交流を深める機会をつくること。	来館者が販売野菜の調理方法を農家や地域住民である従業員と会話する等、交流していることを現地調査で確認。	適
	来館者が必要とする情報の提供	里山ウォークのコースやバスの発車時刻などの情報を案内すること。	バスの時刻表の掲示や周辺地図の配布等にて案内していることを現地調査で確認。	適
情報公開・個人情報保護	情報公開への対応	情報公開に係る措置が適切に講じられていること。	情報公開規程を制定していることを書類にて確認。また、公開請求がなかったことをヒアリングにて確認。	適
	個人情報保護への対応	個人情報保護に係る措置が適切に講じられていること。	保管場所の施錠および個人情報のある書類はシュレッダーで処分されていることを現地調査で確認。	適
要望対応	苦情への適切な対応	苦情に対して必要な措置を講じるとともに、市に報告すること。	販売品に対する苦情に対応するとともに、市への報告を月報にて確認。	適
	トラブル等の未然防止	近隣と良好な関係を築くなどトラブル等の未然防止に努めていること。	近隣や町内会等の活動に対して、弁当受注や施設提供する等、良好な関係を築いていることを月報で確認。	適
危機管理	緊急時に備えた体制・マニュアルの構築	緊急時に備えた体制が構築されていること。	緊急時の連絡体制が構築されていることを緊急連絡網で確認。	適
	損害賠償責任への対応	損害賠償責任に対応可能な保険に加入していること。	損害賠償責任に対応可能な保険に加入していることを賠償責任保険証券で確認。	適
人的安定性	適正な人員の配置	無理がなく適正な人員配置となっていること。	ワークシェア等により、適切な人員配置をとっていることをシフト表で確認。	適
	従業員への研修の実施	従業員の技術や能力向上のための研修を実施していること。	3月9日に有明で防災に関する研修を実施したことをヒアリングにて確認。	適
管理経費の縮減	管理経費縮減の工夫	地域住民の協力を得て、管理経費の縮減を図ること。	従来購入していた門松を地域住民の協力を得て作成し、購入費用を縮小したことを月報にて確認。	適
	物品等の調達方法の見直し	物品等の最適な調達方法により経費の削減を図ること。	インターネット調達により、経費削減を図っていることを請求書で確認。	適
地域貢献	地域における雇用の創出	地域住民の積極的な雇用を図ること。	ワークシェアにより多くの地域住民を雇用していることを労働者名簿で確認。	適
	地域での社会貢献活動等の実施	地域の清掃活動や里山保全活動を積極的に行うこと。	周辺道路や水路の清掃活動を行っていることを月報で確認。	適
環境対策	ごみの減量、リサイクルの推進	発生するごみの削減及びリサイクルに努めること。	伐採された樹木をしいたけの原木やベンチ、薪に加工し、有効活用していることを現地調査で確認。	適
	省エネルギーへの取組	光熱水費の削減に努めること。	こまめに部屋の照明を落とす等、使用量削減に努めたことを現地調査及び事業報告書で確認。	適
町内会等の連携	地元行事への参加	町内会等のイベントに参加し地域を盛り上げること。	地域で開催されるイベントに参加し食品販売等を行い地域を盛り上げていることを月報で確認。	適
	学生の就業体験等の受入	学生の就業体験等を積極的に受け入れること。	大学生のインターンシップを受け入れていたことを現地調査及び月報にて確認。	適

【評価対象年度 2022年度】

広報活動の充実	イベントや企画展示の情報発信	ホームページやFacebook等を活用して情報提供を行うこと。	FacebookやTwitterに加え、Instagramを活用し、情報をこまめに発信していることをウェブサイトで確認。	適
	リピーターへの情報提供	イベント等の情報をリピーターに提供し、再来館につなげること。	リピーター客の多いタケノコや焼き芋の販売について情報提供し、来館を促していることを月報にて確認。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年2月17日付けでモニタリングを実施し、すべての項目で「適」を確認できた。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2023年2月17日付けでモニタリングを実施し、すべての項目で「適」を確認できた。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、現場調査、月報、事業報告書、ヒアリング、アンケート結果、ウェブサイト等で確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	19,782	20,854	20,046	21,211	20,312	21,472	20,577		20,842
	利用料金	10	9	10	36	10	0	10		10
	イベント参加費	0	119	0	123	0	239	0		0
	自主事業	14,000	9,494	14,500	11,629	14,800	12,810	15,000		15,300
	その他	0	0	0	0	0	0	0		0
	計	33,792	30,476	34,556	32,999	35,122	34,521	35,587		36,152
支出	人件費	12,097	12,481	12,329	13,477	12,562	14,520	12,795		13,027
	管理運営費	2,645	2,166	2,645	2,018	2,645	2,546	2,645		2,645
	施設管理経費	819	835	819	770	819	494	819		819
	イベント運営経費	1,800	1,848	1,800	1,867	1,800	1,312	1,800		1,800
	事務費	2,431	2,830	2,463	2,478	2,496	2,375	2,528		2,561
	自主事業	13,800	9,369	14,300	11,187	14,600	12,784	14,800		15,100
	その他	0	0	0	0	0	0	0		0
	計	33,592	29,529	34,356	31,797	34,922	34,031	35,387		35,952
総計(収入-支出)	200	947	200	1,202	200	490	200		200	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.6	3.2	1.2		
負債比率	123.1	109.0	89.7		

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理料は、最低賃金上昇や光熱水費の高騰に対応し、提案の予算から増額した。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による閉館日がなかったこともあり、人件費や管理運営費は2021年度と比較して1,571千円増加した。指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。また、NPO法人の経常利益率、負債比率についても適正な値であった。